

3. 統合新中学校の活用施設について



R 6 .12.21 教育委員会学校適正推進課

目次

- (1) 活用施設決定までの経緯
- (2) 協議結果について

3. 統合新中学校の活用施設について

(1) 活用施設決定までの経緯

学校学習環境規模適正化推進計画（R6年1月）

西脇東中学校と黒田庄中学校の統合について

- ・ 活用する施設を協議により決定
- ・ 統合懇談会でより良い教育環境についての意見交換等

地域意向調査（アンケート）

調査結果

意見交換の結果等

教育委員会で協議

活用施設を決定

3. 統合新中学校の活用施設について

(2) 協議結果について

教育委員会で協議の結果、活用する施設は**西脇東中学校の校舎**となりました。

4人の教育委員は、次の4点に注目して判断されました。

項目① 施設の安全性に関するもの

項目② 施設活用の柔軟性に関するもの

項目③ 適正な学校規模に関するもの

項目④ その他

3. 統合新中学校の活用施設について

(2) 協議結果について

教育委員会で協議の結果、活用する施設は**西脇東中学校の校舎**となりました。

4人の教育委員は、次の4点に注目して判断されました。

項目① 施設の安全性に関するもの

項目② 施設活用の柔軟性に関するもの

項目③ 適正な学校規模に関するもの

項目④ その他

3. 統合新中学校の活用施設について



(2) 協議結果について (地域意向調査結果)

問6 子どもの良好な教育環境の確保のために重要だと考えること
安全性に関する項目 No.9,12

問6 集計結果

全体(合計)	全世帯	比延地区	黒田庄地区
1. 施設の建築年が新しいこと	196件, 5.5%	③132件, 10.2%	64件, 2.8%
2. 施設が大きいこと	178件, 5.0%	18件, 1.4%	159件, 7.0%
3. 将来の生徒数の減少等を見据えて、適正な施設規模であること	⑤242件, 6.8%	④108件, 8.3%	134件, 5.9%
4. グラウンドなどの学校敷地が広いこと	200件, 5.6%	24件, 1.9%	④175件, 7.7%
5. 自然光の採光しやすいなど、明るい室内に配慮した施設であること	158件, 4.4%	94件, 7.2%	64件, 2.8%
6. プールや格技場などの体育施設が充実していること	112件, 3.1%	26件, 2.0%	86件, 3.8%
7. 校舎内の移動のしやすさなど誰もが快適で安心な施設であること	③279件, 7.8%	⑤102件, 7.9%	③177件, 7.9%
8. 多様な学びに対応できる施設であること	④255件, 7.2%	92件, 7.1%	⑤163件, 7.2%
9. 通学路や通学手段が安全であること <small>(通学路等への通学手段が必要となる生徒が少ないこと)</small>	①479件, 13.4%	②162件, 12.5%	①317件, 14.0%
10. 通学路や通学手段が安全であること <small>(通学路等への通学手段が必要となる生徒が少ないこと)</small>	117件, 3.3%	25件, 1.9%	91件, 4.0%
11. 駅直下など公共交通が利用しやすい立地であること	110件, 3.1%	10件, 1.5%	91件, 4.0%
12. 災害等のおそれが少ない安全な環境であること	②397件, 11.1%	①184件, 14.2%	②213件, 9.4%
13. 小学校・中学校間の距離等を見据えて、小学校等との距離が近いこと	80件, 2.2%	37件, 2.9%	43件, 1.9%
14. 部活動の地域移行等を見据えて、他の中学校や公共施設との距離が近いこと	96件, 2.7%	57件, 4.4%	39件, 1.7%
15. 教育活動等で活用できる地域資源(史跡や産業など)が近くにあること	31件, 0.9%	17件, 1.3%	14件, 0.6%
16. 改修等の整備や通学支援に係る費用などのコストが抑えられること	192件, 5.4%	76件, 5.9%	115件, 5.1%
17. 統合前の生徒数など現状の学校規模が大きいこと	141件, 4.0%	8件, 0.6%	132件, 5.8%
18. 市中心部に近く、公共施設等を利用しやすい位置に学校が立地していること	87件, 2.4%	64件, 4.9%	23件, 1.0%
19. 市域にバランスよく(地理的に偏在なく)学校が立地していること	194件, 5.4%	45件, 3.5%	149件, 6.6%
20. その他	18件, 0.5%	7件, 0.5%	11件, 0.5%

9.通学路や通学手段が安全であること

全体	比延地区	黒田庄地区
479件 13.4%	162件 12.5%	317件 14.0%

全体①位

比延地区②位

黒田庄地区①位

12.災害等のおそれが少ない安全な環境であること

全体	比延地区	黒田庄地区
397件 11.1%	184件 14.2%	213件 9.4%

全体②位

比延地区①位

黒田庄地区②位

3. 統合新中学校の活用施設について

(2) 協議結果について

項目① 施設の安全性に関するもの

ア. 校舎の規模や設計などを踏まえて、廊下の見通しや職員室の配置などを比較した際、西脇東中学校の方が、生徒に対する教職員の目がより行き届きやすく、生徒の安全が確保されやすい環境であると考えられること。

	西脇東中	黒田庄中
校舎面積	3,110㎡	4,242㎡
建物階数	2階建	3階建
想定学級数	6クラス	12クラス



生徒玄関横から



1階の見通し



階段すぐからの2階見通し

3. 統合新中学校の活用施設について

(2) 協議結果について

項目① 施設の安全性に関するもの

イ. 両校ともに学校敷地はハザードマップでも安全であることが確認されているが、地域意向調査の結果で示されているように、安全性をより重視するのであれば、災害発生の恐れがある区域から離れた立地にある西脇東中学校の方が、通学等で使用する学校周辺も含めて、より安全・安心な環境と考えられること。



- 黒田庄中学校の隣接区域（2日間で750mmを想定）
- ①土砂災害警戒区域 急傾斜（レットゾーン、イエローゾーン）
- ②山腹崩壊危険区域
- ③浸水想定区域 3 m未満

3. 統合新中学校の活用施設について



(2) 協議結果について

教育委員会で協議の結果、活用する施設は**西脇東中学校の校舎**となりました。

4人の教育委員は、次の4点に注目して判断されました。

項目① 施設の安全性に関するもの

項目② 施設活用の柔軟性に関するもの

項目③ 適正な学校規模に関するもの

項目④ その他

3. 統合新中学校の活用施設について



(2) 協議結果について (地域意向調査結果)

問6 子どもの良好な教育環境の確保のために重要だと考えること
 施設の柔軟性に関する項目 No.8

問6 集計結果

全体 (合計)	全世帯	比延地区	黒田庄地区
1. 施設の建築年が新しいこと	196件, 5.5%	③132件, 10.2%	64件, 2.8%
2. 施設が大きいこと	178件, 5.0%	18件, 1.4%	159件, 7.0%
3. 将来の生徒数の減少等を見据えて、適正な施設規模であること	⑤242件, 6.8%	④108件, 8.3%	134件, 5.9%
4. グラウンドなどの学校敷地が広いこと	200件, 5.6%	24件, 1.9%	④175件, 7.7%
5. 自然光の採光しやすいなど、明るい室内に配慮した施設であること	158件, 4.4%	94件, 7.2%	64件, 2.8%
6. プールや格技場などの体育施設が充実していること	112件, 3.1%	26件, 2.0%	86件, 3.8%
7. 校舎内の移動のしやすさなど誰もが快適に利用できること	③279件, 7.8%	⑤102件, 7.9%	③177件, 7.8%
8. 多様な学びに対応できる施設であること	④255件, 7.2%	92件, 7.1%	⑤163件, 7.2%
9. 通学路や通学手段が安全であること	④175件, 4.8%	②162件, 12.4%	②113件, 4.9%
10. 通学バス等の通学支援が必要となる生徒が少ないこと	117件, 3.3%	25件, 1.9%	91件, 4.0%
11. 鉄道駅など公共交通が利用しやすい立地であること	110件, 3.1%	19件, 1.5%	91件, 4.0%
12. 災害等のおそれが少ない安全な環境であること	②397件, 11.1%	①184件, 14.2%	②213件, 9.4%
13. 小学校・中学校間の連携等を見据えて、小学校等との距離が近いこと	80件, 2.2%	37件, 2.9%	43件, 1.9%
14. 部活動の地域移行等を見据えて、他の中学校や公共施設との距離が近いこと	96件, 2.7%	57件, 4.4%	39件, 1.7%
15. 教育活動等で活用できる地域資源(史跡や産業など)が近くにあること	31件, 0.9%	17件, 1.3%	14件, 0.6%
16. 改修等の整備や通学支援に係る費用などのコストが抑えられること	192件, 5.4%	76件, 5.9%	115件, 5.1%
17. 統合前の生徒数など現状の学校規模が大きいこと	141件, 4.0%	8件, 0.6%	132件, 5.8%
18. 市中心部に近く、公共施設等を利用しやすい位置に学校が立地していること	87件, 2.4%	64件, 4.9%	23件, 1.0%
19. 市域にバランスよく(地理的に偏在なく)学校が立地していること	194件, 5.4%	45件, 3.5%	149件, 6.6%
20. その他	18件, 0.5%	7件, 0.5%	11件, 0.5%

8. 多様な学びに対応できる施設であること

全体	比延地区	黒田庄地区
255件 7.2%	92件 7.1%	163件 7.2%

全体④位

比延地区⑦位

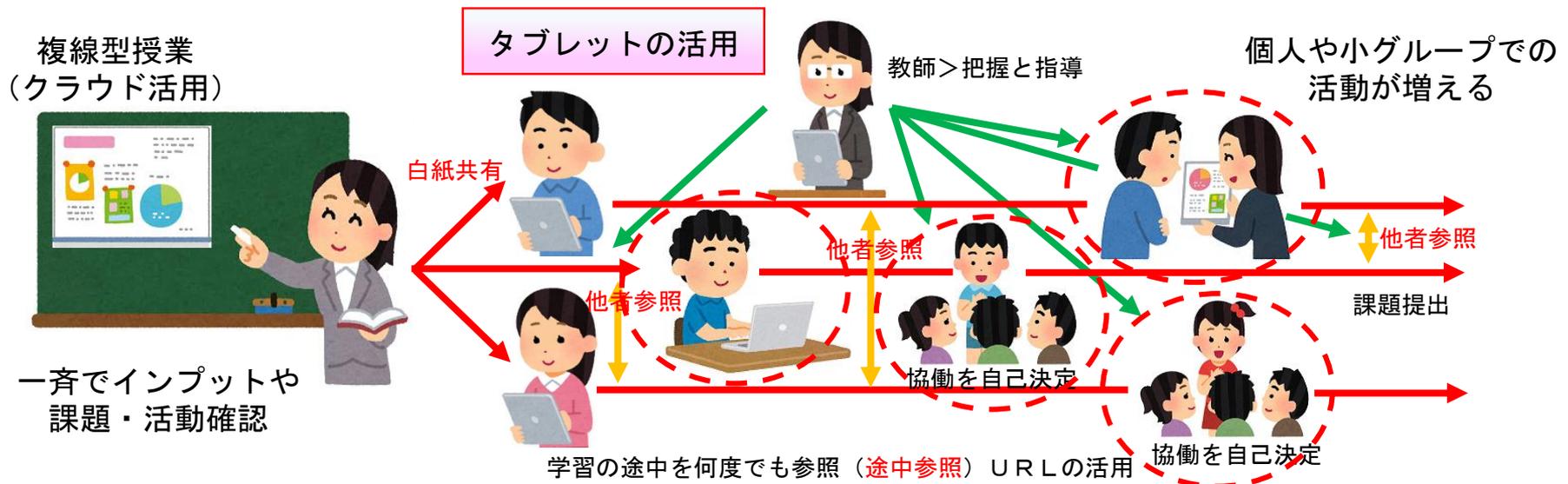
黒田庄地区③位

3. 統合新中学校の活用施設について

(2) 協議結果について

項目② 施設活用の柔軟性に関するもの

西脇東中学校は、普通教室の壁が可動式であり廊下の多目的スペースを活用できることから、多様な教育活動に対応できる可能性が考えられ、タブレット端末を用いた学習や個別最適な学びの実現など、柔軟な対応が可能と考えられること。



3. 統合新中学校の活用施設について

(2) 協議結果について

項目② 施設活用の柔軟性に関するもの

C棟2階	多目的スペース	更衣	3年1組教室	3年学習室	準備	理科室
C棟1階	多目的スペース	1年1組教室	1年学習室	2年1組教室	2年学習室	

普通教室の廊下側の壁が可動式となっており、廊下の多目的スペースが利用可能



個別最適な学びの実現に対応できる機能



西脇東中学校 令和2年度（多目的スペースの利用）

3. 統合新中学校の活用施設について

(2) 協議結果について

教育委員会で協議の結果、活用する施設は**西脇東中学校の校舎**となりました。

4人の教育委員は、次の4点に注目して判断されました。

項目① 施設の安全性に関するもの

項目② 施設活用の柔軟性に関するもの

項目③ 適正な学校規模に関するもの

項目④ その他

3. 統合新中学校の活用施設について

(2) 協議結果について（地域意向調査結果）

問6 子どもの良好な教育環境の確保のために重要だと考えること
適正な学校規模に関する項目 No.3

問6 集計結果

全体(合計)	全世帯	比延地区	黒田庄地区
1. 施設の建築年が新しいこと	196件, 5.5%	③132件, 10.2%	64件, 2.8%
2. 施設が広々としたこと	①298件, 8.8%	①132件, 10.2%	①64件, 2.8%
3. 将来の生徒数の減少等を見据えて、適正な施設規模であること	⑤242件, 6.8%	④108件, 8.3%	134件, 5.9%
4. 自然光の採光しやすいなど、明るく室内に配慮した施設であること	158件, 4.4%	94件, 7.2%	64件, 2.8%
5. プールや格技場などの体育施設が充実していること	112件, 3.1%	26件, 2.0%	86件, 3.8%
6. 校舎内の移動のしやすさなど誰もが快適で安心な施設であること	③279件, 7.8%	⑤102件, 7.9%	③177件, 7.8%
7. 多様な学びに対応できる施設であること	④255件, 7.2%	92件, 7.1%	⑤163件, 7.2%
8. 通学路や通学手段が安全であること	①479件, 13.4%	②162件, 12.5%	①317件, 14.0%
9. 通学バス等の通学支援が必要となる生徒が少ないこと	117件, 3.3%	25件, 1.9%	91件, 4.0%
10. 鉄道駅など公共交通が利用しやすい立地であること	110件, 3.1%	19件, 1.5%	91件, 4.0%
11. 災害等のおそれが少ない安全な環境であること	②397件, 11.1%	①184件, 14.2%	②213件, 9.4%
12. 小学校・中学校間の連携等を見据えて、小学校等との距離が近いこと	80件, 2.2%	37件, 2.9%	43件, 1.9%
13. 部活動の地域移行等を見据えて、他の中学校や公共施設との距離が近いこと	96件, 2.7%	57件, 4.4%	39件, 1.7%
14. 教育活動等で活用できる地域資源（史跡や産業など）が近くにあること	31件, 0.9%	17件, 1.3%	14件, 0.6%
15. 改修等の整備や通学支援に係る費用などのコストが抑えられること	192件, 5.4%	76件, 5.9%	115件, 5.1%
16. 統合前の生徒数など現状の学校規模が大きいこと	141件, 4.0%	8件, 0.6%	132件, 5.8%
17. 市中心部に近く、公共施設等を利用しやすい位置に学校が立地していること	87件, 2.4%	64件, 4.9%	23件, 1.0%
18. 市域にバランスよく（地理的に偏在なく）学校が立地していること	194件, 5.4%	45件, 3.5%	149件, 6.6%
19. その他	18件, 0.5%	7件, 0.5%	11件, 0.5%

3. 将来の生徒数の減少等を見据えて、適正な施設規模であること

全体	比延地区	黒田庄地区
242件 6.8%	108件 8.3%	134件 5.9%

全体⑤位

比延地区④位

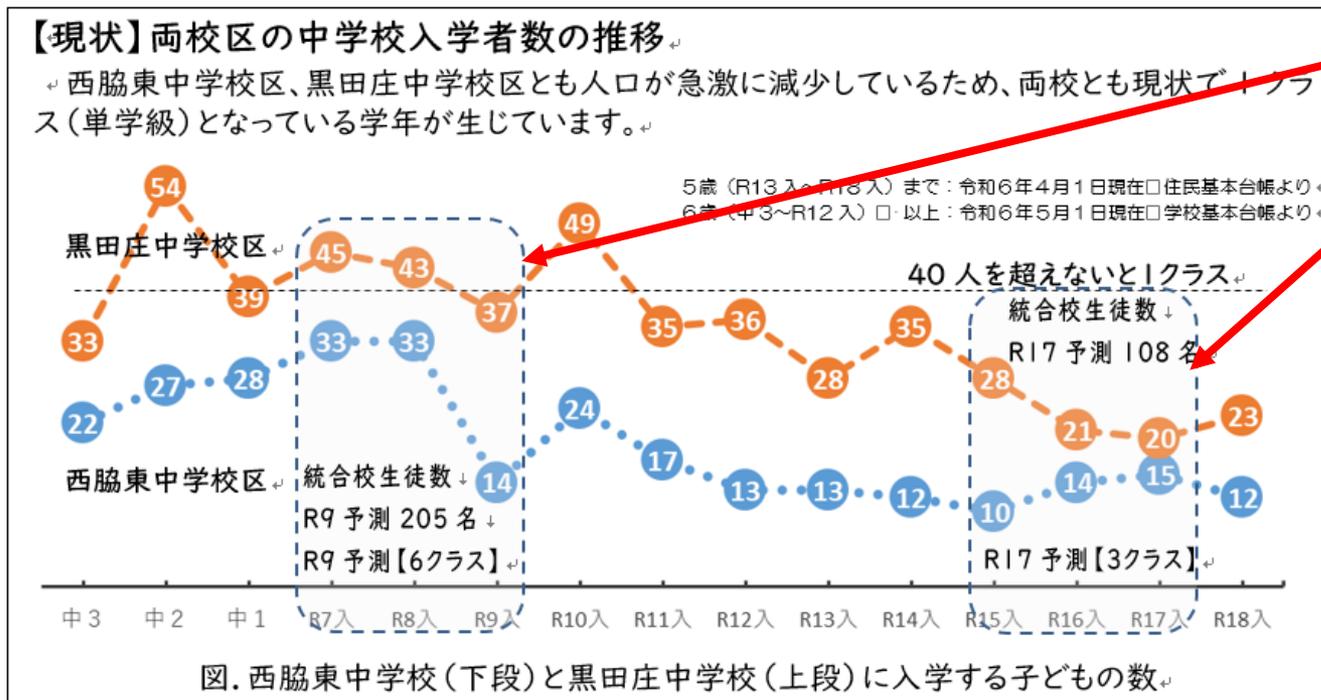
黒田庄地区⑧位

3. 統合新中学校の活用施設について

(2) 協議結果について

項目③ 適正な学校規模に関するもの

年少人口の減少に伴い、統合中学校の学級数は将来的に減少する見込みであることから、西脇東中学校の方が将来の学級数を見通して、適正な学校規模と考えられること。



3. 統合新中学校の活用施設について



(2) 協議結果について

教育委員会で協議の結果、活用する施設は**西脇東中学校の校舎**となりました。

4人の教育委員は、次の4点に注目して判断されました。

項目① 施設の安全性に関するもの

項目② 施設活用の柔軟性に関するもの

項目③ 適正な学校規模に関するもの

項目④ その他

3. 統合新中学校の活用施設について

(2) 協議結果について

項目④ その他

- ア. 西脇東中学校の体育館は、建築年が平成22（2010）年と新しく、使いやすい施設と考えられること。

- イ. 西脇東中学校で計画している増築校舎は、新しい施設であり、生徒の学びにとって、より快適かつ効果的な教育環境の実現につながると考えられること。

ありがとうございました



NIHONNO
HESONOÓ